Press Release

TOYO KEIZAI INC. since1895
株式会社 東洋経済新報社
〒103-8345　東京都中央区日本橋本石町 1-2-1　http://toyokeizai.net/

2014/12/11

上場会社の平均想定レートは103円03銭

「会社四季報　2015 年新春号」で上場会社の為替想定レートを調査

株式会社東洋経済新報社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山縣裕一郎）が、上場会社に米ドルとユーロの想定レートを調査したところ、平均でドル 103 円 03 銭、ユーロ 136 円 73 銭を想定していることがわかりました（上場会社 3557 社を対象に調査。有効回答社数はドル 728 社、ユーロ 370 社）。調査結果の詳細は、**12 月 12 日発売の『会社四季報　2015 年新春号』**に掲載します。

半年前に実施した本調査の平均想定レートはドル 100 円 96 銭、ユーロは 136 円 10 銭。円安進行を受け想定レートを円安方向へ変更する企業が増えています。

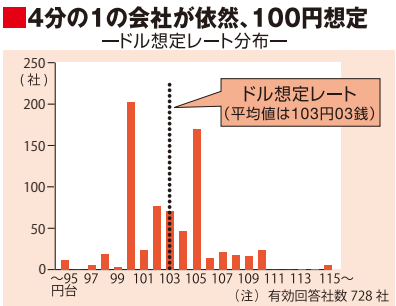
ただ 12 月に入りドルは一時 121 円、ユーロは同 150 円と一段の円安水準になっています。とくにドルは企業の想定レートとの乖離が 18 円を超えており、業績に与える影響が大きそうです。

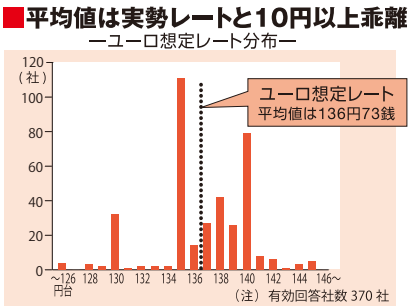
輸出関連企業にとって円安は追い風です。トヨタ自動車（下期想定 105 円）など自動車メーカーを筆頭に、日立製作所（同 100 円想定）や村田製作所（同 105 円想定）など電気機器メーカーもメリットを享受できそうです。

一方、原材料などの輸入依存度が高い企業にとって円安はマイナス要因です。原油、ＬＮＧの輸入価格上昇の影響を被る電力やガス各社は、大半は料金に転嫁されますが、タイムラグがあり収益悪化は避けられません。また食品や外食、小売りなど海外からの輸入品を扱う各社も、採算面での押し下げ要因になります。

『会社四季報新春号』では、主要各社の想定レートとともに、為替感応度を掲載しております。

『会社四季報　2015 年 1 集新春号』





この件に関するお問い合わせ先

株式会社東洋経済新報社
総務局総務部広報・青柳／小方、編集局会社四季報編集部・鈴木
TEL：03-3246-5404　FAX：03-3279-0332　email:info@toyokeizai.co.jp